

安全のために必ずお守り下さい

絵表示について

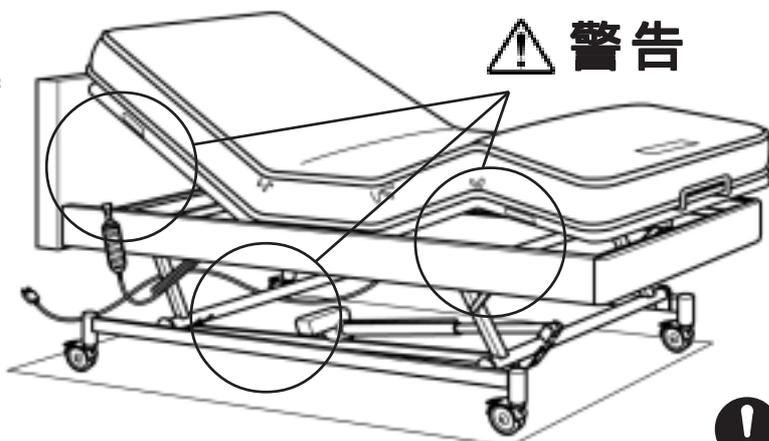
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い戴くため、下記の絵表示をしています。その表示と意味は次の様になっています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。

 警告 記載されている内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	 注意 記載されている内容を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れのあることを示します。	
 この記号は禁止の行為であることを告げるものです。 (～してはいけません。)	 この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 (～下さい。)	 絵表示に対する行為を禁止することを告げるものです。

警告

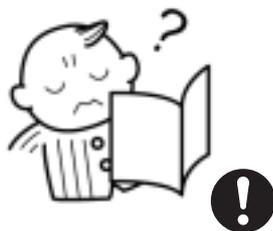
使用上の注意

ベッドの操作を行う際には、寝ている方やベッド周辺の安全を確認しながら操作して下さい。何らかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止して下さい。ケガをしたり、故障の原因となります。



小さなお子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない方がご使用になる場合は付添いの人が操作を行って下さい。

取扱説明書・警告ラベルには安全に使用する上で重大なことが書かれており、この内容が理解できない人が操作しますと、事故の原因となります。



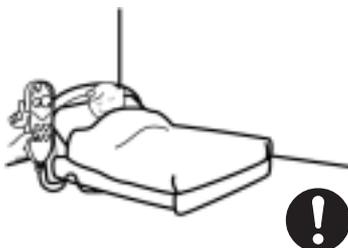
御使用になる前に、体に不安のある方や現在治療中の方はかかりつけの医師に相談してからお使い下さい。

ベッドの背上げ、脚上げ機能を利用することで症状を悪化させる可能性があります。



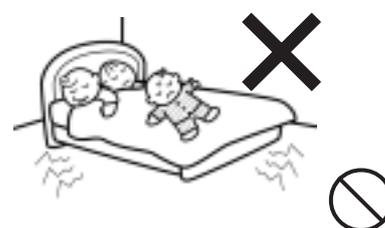
ベッドを操作する際には、寝ている人の頭がヘッドボード側にあり、仰向けに寝た状態で行って下さい。

寝姿勢によっては身体に無理がかかりケガをする恐れがあります。



本製品は1人用ですので2人以上では使用しないで下さい。

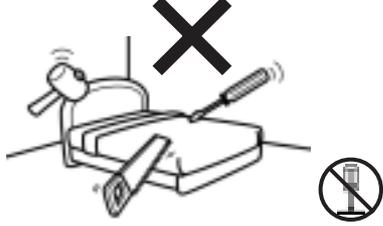
重大な事故の原因になります。



⚠ 警告

使用上の注意

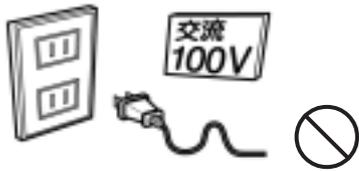
分解改造しないで下さい。
破損してケガをする恐れがあります。



電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないで下さい。
感電・ショート・火災の原因になります。



交流100V以外では使用しないで下さい。
感電や火災の原因となります。



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないで下さい。
又、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないで下さい。
電源コードが破損し、感電や火災の原因となります。



背上げ、脚上げした状態で背部や脚部に立ったり腰掛けたりしないで下さい。
ケガをしたり、破損の原因になります。



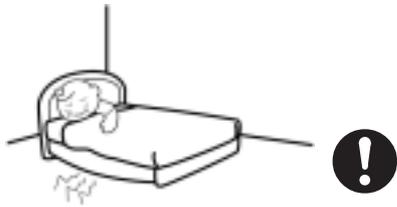
ベッドの下や背上げたトコイタとフレームの間には入らないで下さい。
ケガをしたり、破損の原因になります。



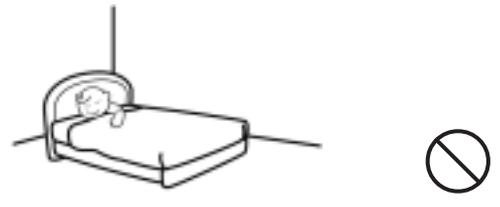
⚠ 注意

使用上の注意

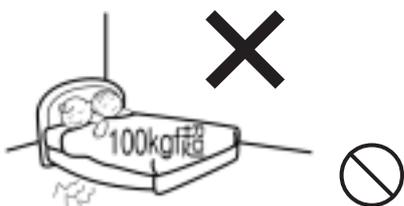
妊娠中の方や極度に肥満体の方は、ご使用に際し十分注意してご使用下さい。



介護、就寝以外での使用はしないで下さい。
重大な事故の原因となります。



耐荷重は最大100kgfです。体重と寝装品や付属品を合わせた重量が、100kgfを超えるときは使用しないで下さい。
ベッドの破損や重大な事故の原因となります。



ベッドの重量(商品仕様参照)に十分耐えられる床の強度を確保して下さい。又、床の材質によっては、ベッドの接地面が傷ついたり、きしみ音が出る場合がありますので、極力カーペット類を使用して床面の保護を行って下さい。



⚠ 注意

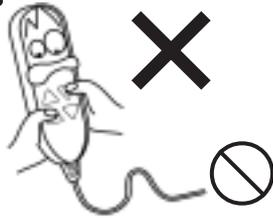
使用上の注意

ベッドの操作を行う際には、寝ている方やベッド周辺の安全を確認しながら操作して下さい。何らかの危険を感じた時には、すぐに操作を中止して下さい。
ケガをしたり、故障の原因となります。



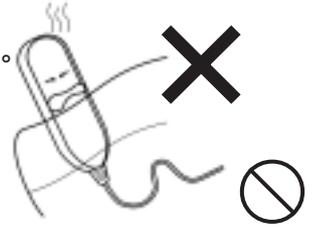
コントローラーの操作ボタンは、同時に2つ以上押さないで下さい。

加熱や故障の原因となります。



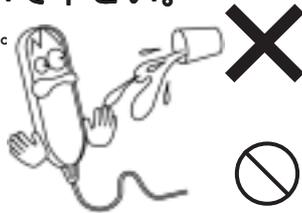
コントローラーはふとんの中に入れて下さい。

加熱や故障の原因となります。



モーターやコントローラーに水やジュースなどの液体をこぼさないで下さい。

感電や故障の原因となります。



マットレスには向きがあります。必ずマットラベルをフットボード側にして下さい。

曲げられなくなります



背上げ、脚上げ、昇降などの電動操作を長時間(2分以上)連続で行わないで下さい。

連続運転の為モーターが熱を持つとモーターの過熱防止保護回路が働きモーターが動かなくなります。次に使用する時は十分に時間をおいてから使用して下さい。



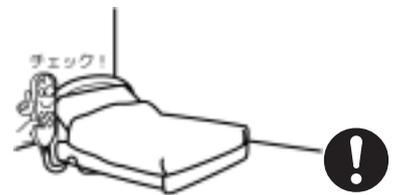
背上げ、脚上げの状態のままで長時間(就寝の際など)使用しないで下さい。

ベッドの破損や重大な事故の原因となります。



しばらく使用していなかった場合は、必ず人が乗る前にベッドの作動が正常かつ安全である事を確認して下さい。

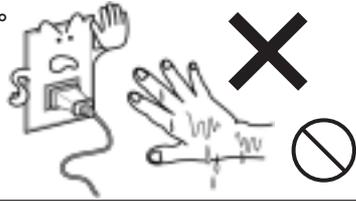
作動が異常ですと、思わぬ事故の原因となります。



⚠ 注意

使用上の注意

電源プラグや電源コード及びコントローラーには濡れた手で触らないで下さい。
感電する恐れがあります。



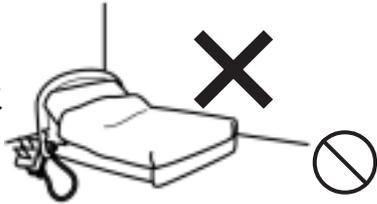
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って抜いて下さい。

コードが破損し感電・火災の原因になります。



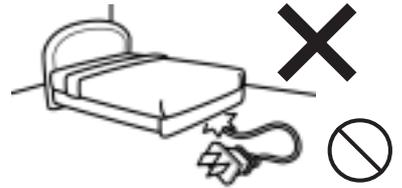
電源コード及びコントローラーのコードを無理に曲げたり、つぎ足したり、リクライニング部にはさんだりしないで下さい。

コードが破損し感電・火災の原因になります。



電源コードの上に重い物を載せたり、コードがベッド(レグやキャスター等)の下敷きにならないようにして下さい。

コードが破損し感電・火災の原因になります。



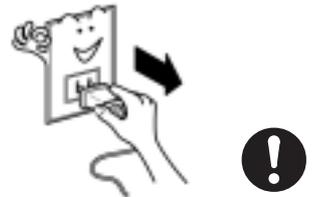
ベッドの電源はなるべく直接コンセントから取って下さい。

コンセントや延長コードの容量を越える電気製品を同時に接続しないで下さい。電源コードや電源プラグが発熱する恐れがあります。



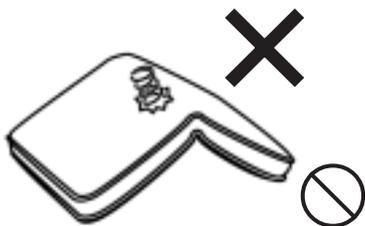
ベッドを動かす場合や長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。



マットレスは、無理に折り曲げないで下さい。

変形や破損の原因になります。



キャスター脚は必ず固定して下さい。

固定しないで使用していると、思わぬ時に動いて事故の原因になります。



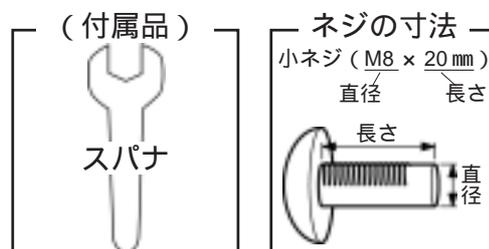
部品一覧表

組立を行う前に、次の部品が揃っているかお確かめ下さい。

部品名称	部品数	梱包数
電動リラックスフレーム	1	1
固定ピン	2	
固定金具	4	
小ネジ (M8×20mm)	9	
マットレスストッパー	1	
キャップ	2	
コントローラーフック	1	

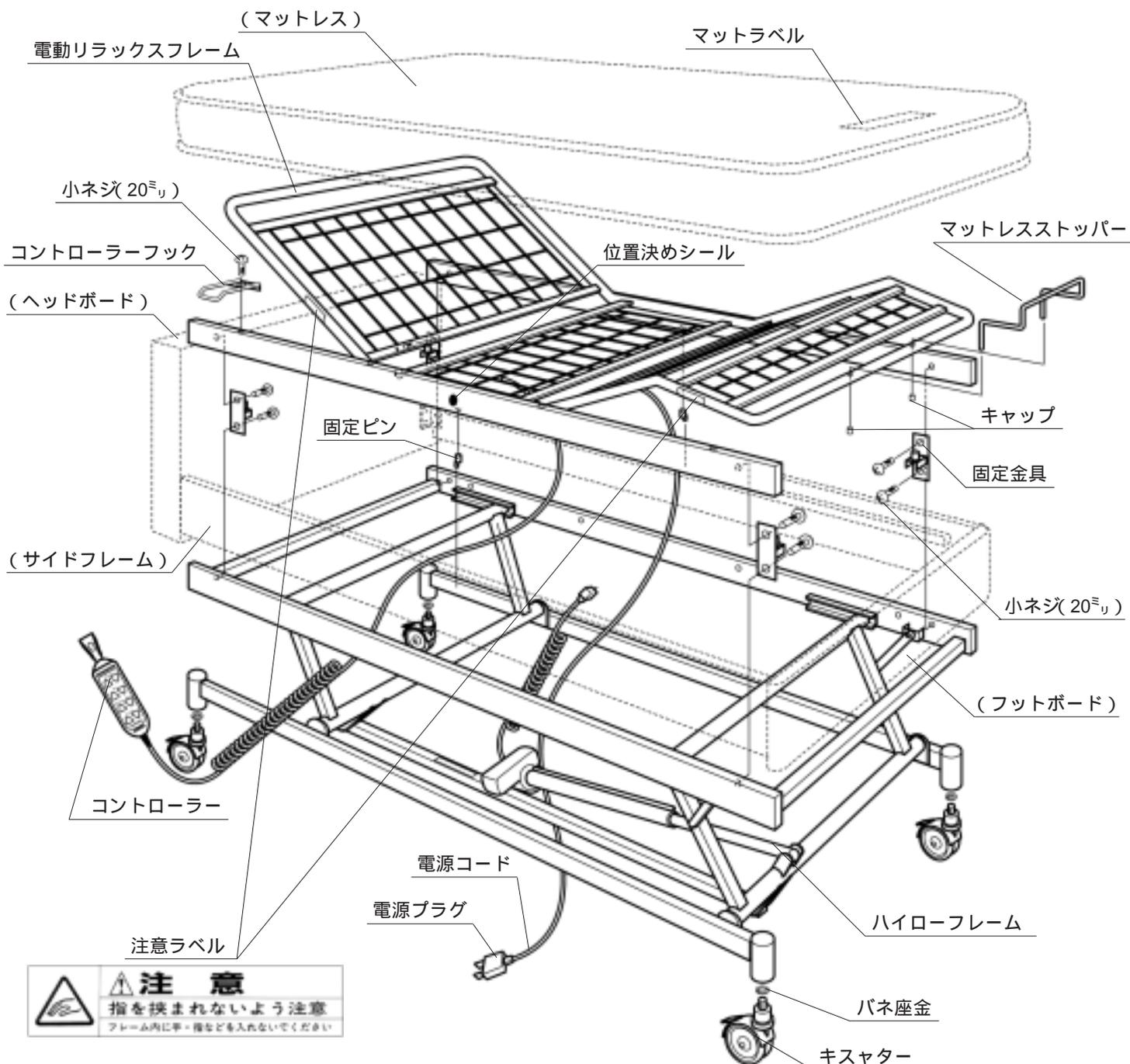
部品名称	部品数	梱包数
ハイローフレーム	1	1
キャスター	4	
バネ座金	4	
スパナ	1	

153189-0



各部のなまえ

本製品には、下の図のように注意ラベルが貼付してあります。ご使用前に、貼付箇所と意味内容をよくご理解下さい。



型式によりベッドフレームのデザイン形状は異なる場合があります。

組立方法

型式によりデザイン形状が異なりますが組立方法はおなじです。

組立を行う前に

ベッドを置く位置を決めます

- ・頭側の向きを確認して下さい。
- ・部屋の中でコンセントの位置及び、家具の引き出し、扉等の開閉に支障がないことを確認して下さい。
- ・ヘッドボードは、頭側に置いて下さい。

⚠ 注意

2名以上で組立作業を行って下さい。
ケガをしたりベッドを破損する原因になります。

組立には、プラスドライバーをご用意下さい。

⚠ 注意

型式によりサイドフレームに左右がある場合があります
コントローラコード穴のある方が、
ヘッドボード側になるように組み付けて下さい。

コントローラコード穴



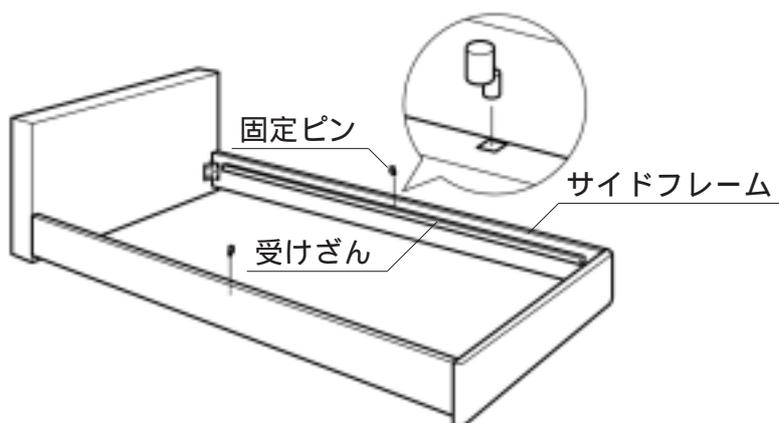
組立順序

1 ベッドフレームを組み立てます

- ・ベッドフレームに同梱されております組立・取扱説明書をご覧の上、ベッドフレーム(ヘッドボード・フットボード・サイドフレーム・レッグ等)を組み立てて下さい。

2 固定ピンを取付けます

- ・受けざん中央部の取り付け穴に固定ピンを差し込んで下さい。
- ・固定ピンはベッドフレームの内側に向くように差し込んで下さい。



サイドフレーム

受けざん

真上から見た図

⚠ 注意

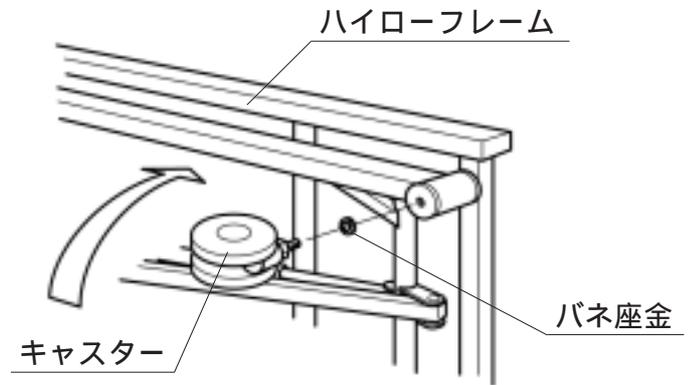
固定ピンは必ず最初に取り付けて下さい。

後での取り付けは困難になります。

また、電動リクライニングフレームの正しい位置決め・組立が出来なくなります。

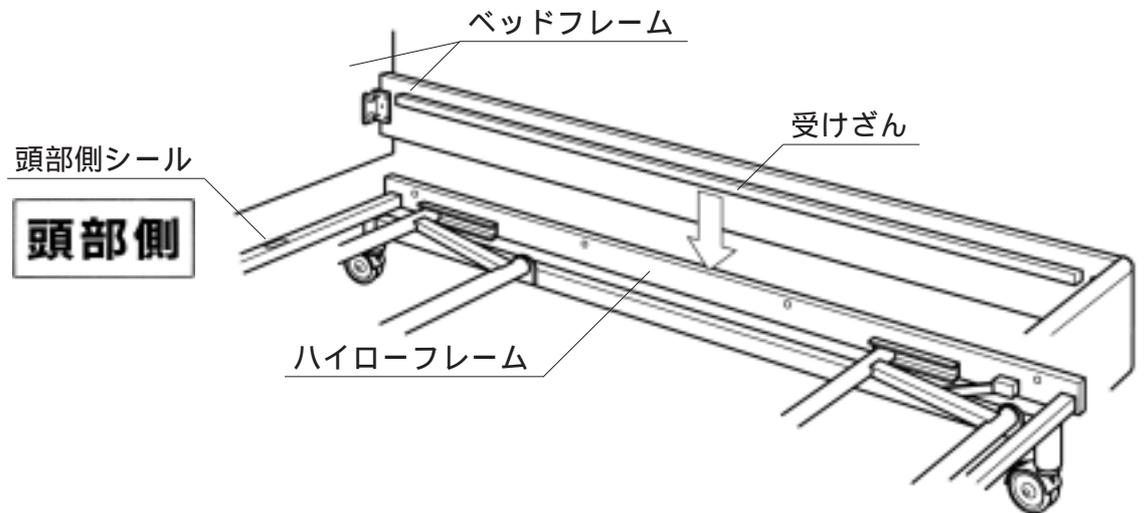
3 キャスターをハイローフレームに取り付けます

- ・ハイローフレームを横向きに起こして下さい。
- ・ハイローフレームの4隅にあるネジ穴にキャスターをねじ込んで下さい。
- ・付属のスパナを使用して確実にねじ込んで下さい。
- ・4箇所とも同様にしてねじ込んで下さい。



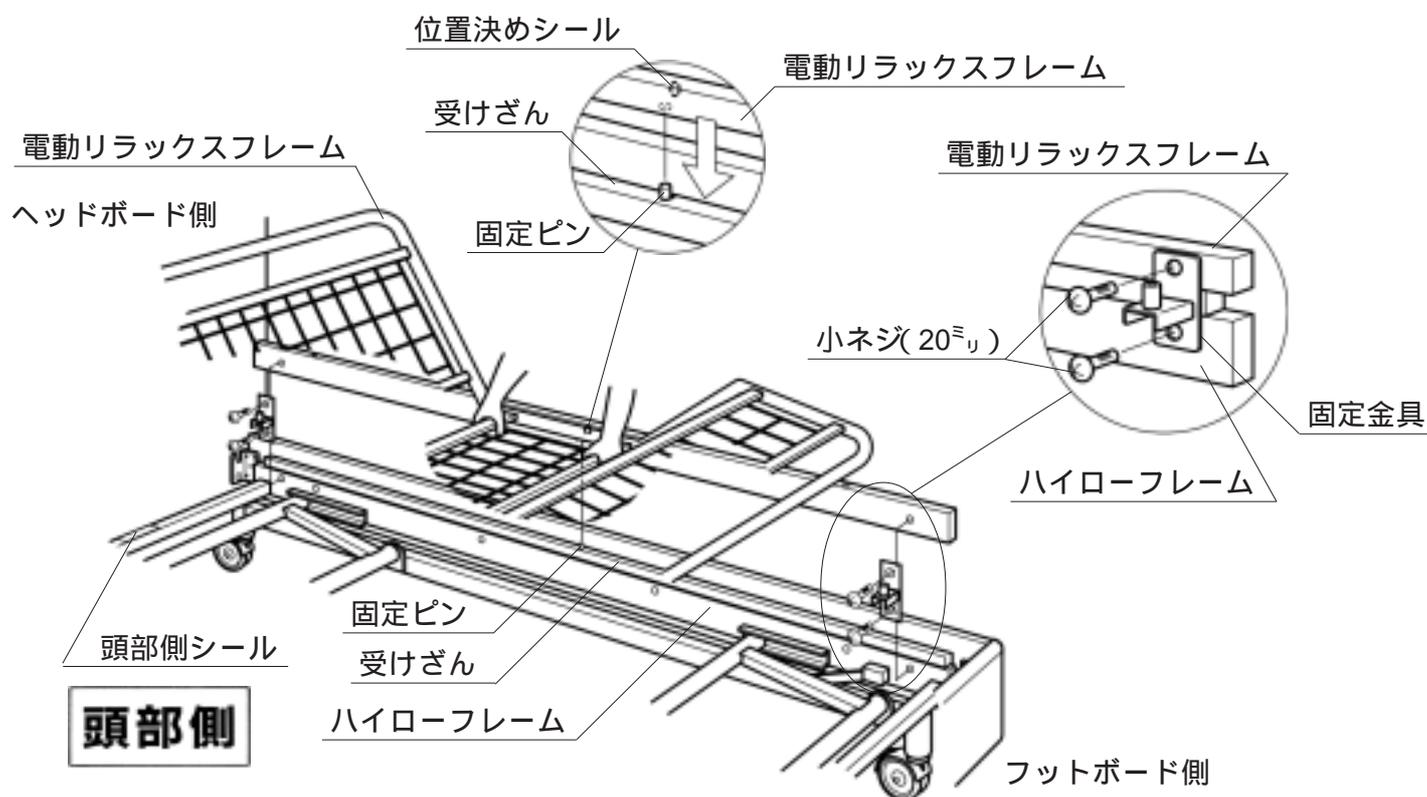
4 ベッドフレームをハイローフレームに載せます

- ・ハイローフレームの頭部側シールにて、前後の向きを確認して下さい。
- ・ベッドフレームの受けざんをハイローフレームに載せて下さい。



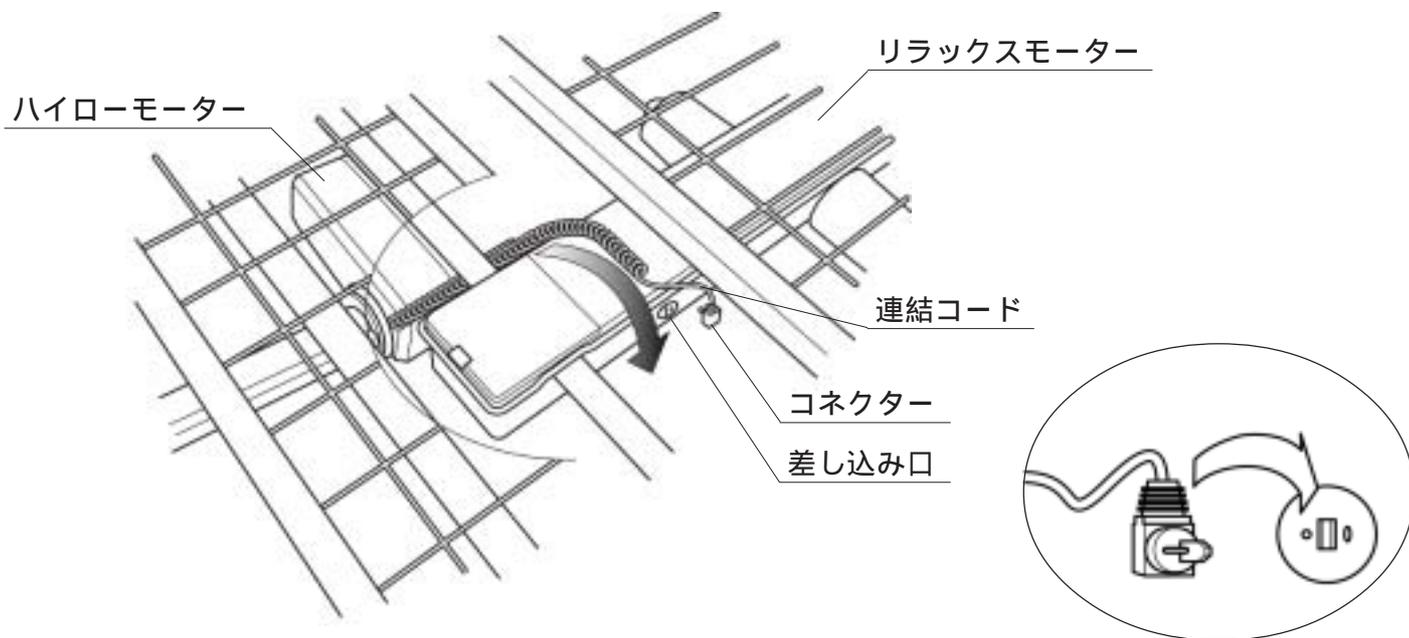
5 電動リラックスフレームを取り付けます

- ・ハイローフレームの頭部側シールにて、電動リラックスフレームの前後の向きを確認して下さい。
- ・電動リラックスフレームを持つ際は、下の図を参考に中央部を左右から2人で持つと安定して持つことが出来ます。
- ・電動リラックスフレームの両サイド下面中央部にある固定穴に、固定ピンが差し込まれるように電動リラックスフレームをベッドフレームの受けざんに載せて下さい。
(固定穴が開いている箇所の外側側面に位置決めシールが貼ってあります。それを目安に固定ピンと固定穴を合せて下さい。)
- ・ハイローフレームと電動リラックスフレームのネジ穴の位置を合わせて下さい。
- ・電動リラックスフレームのヘッドボード側・フットボード側の可動部を手で持ち上げ、固定金具を小ネジ(20[㍉])2個で確実に取り付けして下さい。
- ・4箇所とも同様にして取り付けして下さい。
- ・手など挟まないように十分注意して作業を行って下さい。



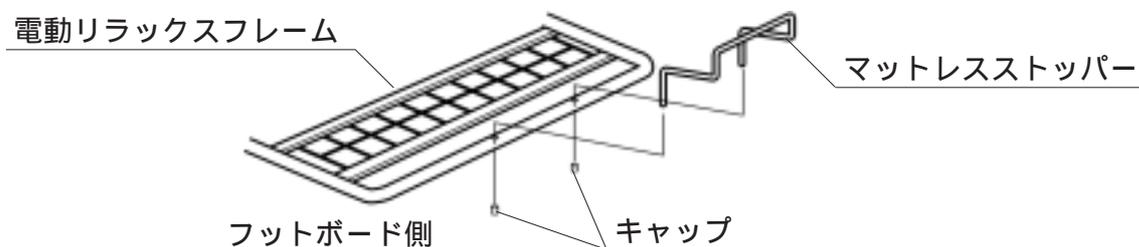
6 ハイローモーターの連結コードを接続します

- ・ハイローモーターから出ている連結コードのコネクターをリラックスモーターの差し込み口に差し込んで下さい。
(下図を参考にリラックスモーターの上から連結コードを通して下さい。)
- ・コネクターのピンの形に注意して差し込んで下さい。



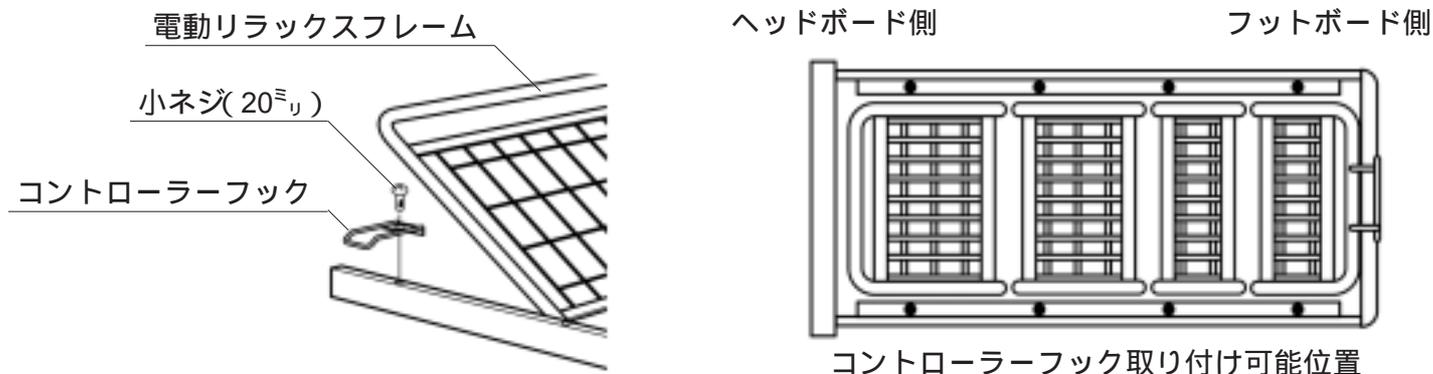
7 マットレスストッパーを取り付けます

- ・マットレスストッパーを電動リラックスフレームのフットボード側にある取り付け穴に差し込んで下さい。
- ・差し込んだマットレスストッパーにキャップを取り付けて下さい。



8 必要に応じてコントローラーフックを取り付けます

- ・コントローラーフックはお好みの位置(8箇所)に取り付けることができます。(図中 の位置)
- ・コントローラーフックを電動リラックスフレーム上面にあるネジ穴に小ネジ(20[≒])で取り付けて下さい。



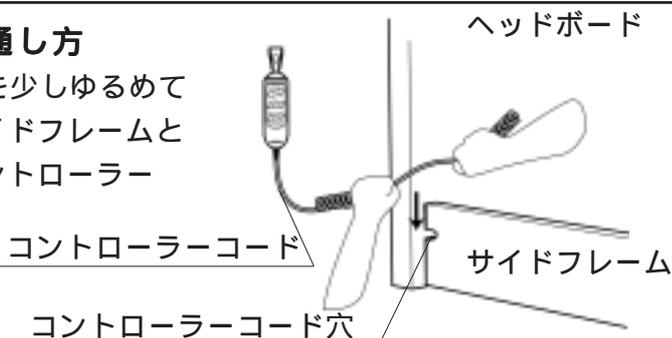
9 電源プラグを家庭用コンセントに差し込んで下さい。

- ・電源コードはハイローフレームの下から這わせる様にして、外に出して下さい。
- ・コントローラーは、ハイローフレームを上昇状態にしてサイドフレームとハイローフレームの間から外に出して下さい。
(左右いずれかの使用しやすい方に通して下さい)
(ハイローの操作方法は「コントローラーの使い方」をご覧ください。)

サイドフレームにコントローラーコード穴がある型式の場合は、コントローラーのコードをコントローラーコード穴に通して下さい。

コントローラーコードの通し方

- ・サイドフレームの取付ネジを少しゆるめてコードをのばしながら、サイドフレームとヘッドボードの間からコントローラーコード穴に通して下さい。

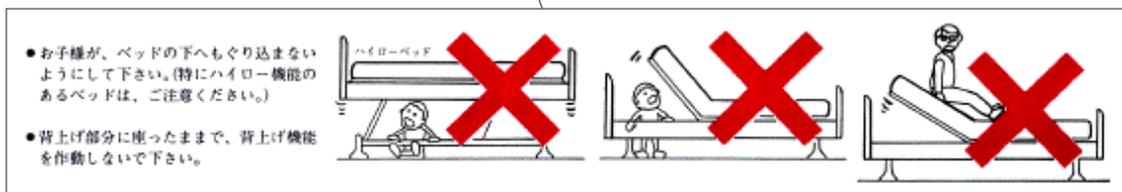
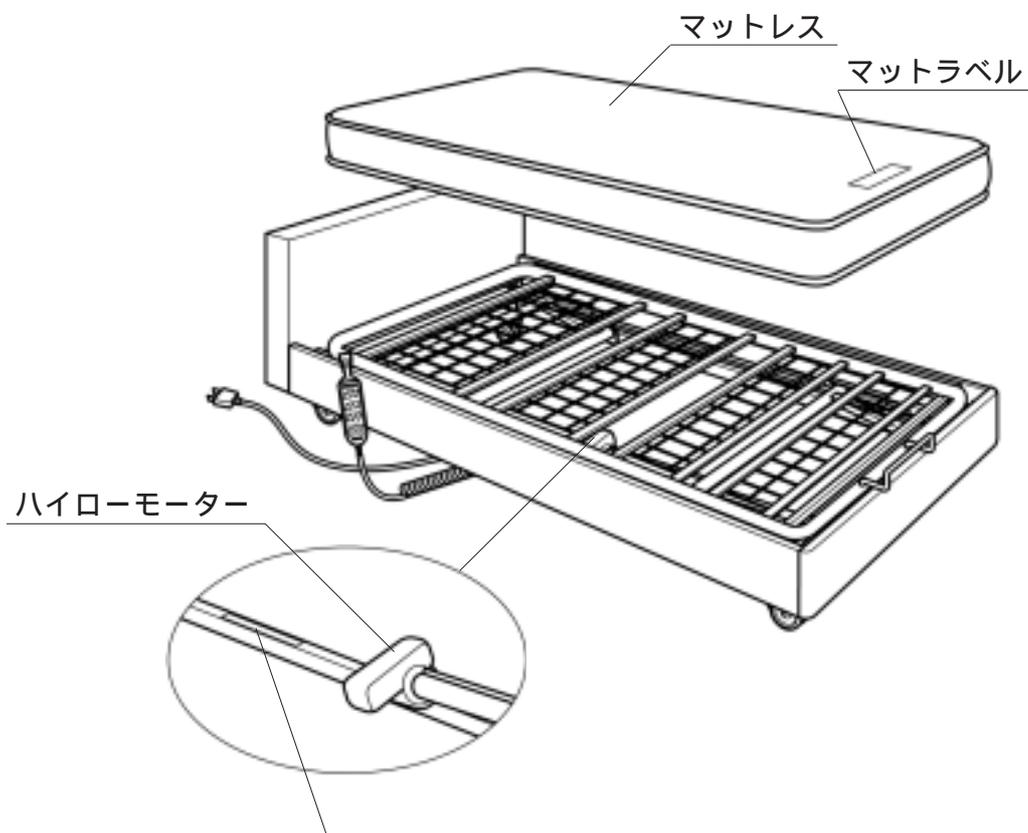


注意

ハイローフレームを下げた時に、各コードがフレーム等に挟まれていない事を確認して下さい。

10 マットレスを載せて下さい

- ・マットレスのマットラベルをフットボード側にして載せて下さい。
- ・以上でベッドの組立は終了です。
- ・本製品には、下の図のように警告ラベルが貼付してあります。
ご使用前に、貼付箇所と意味内容をよくご理解下さい。

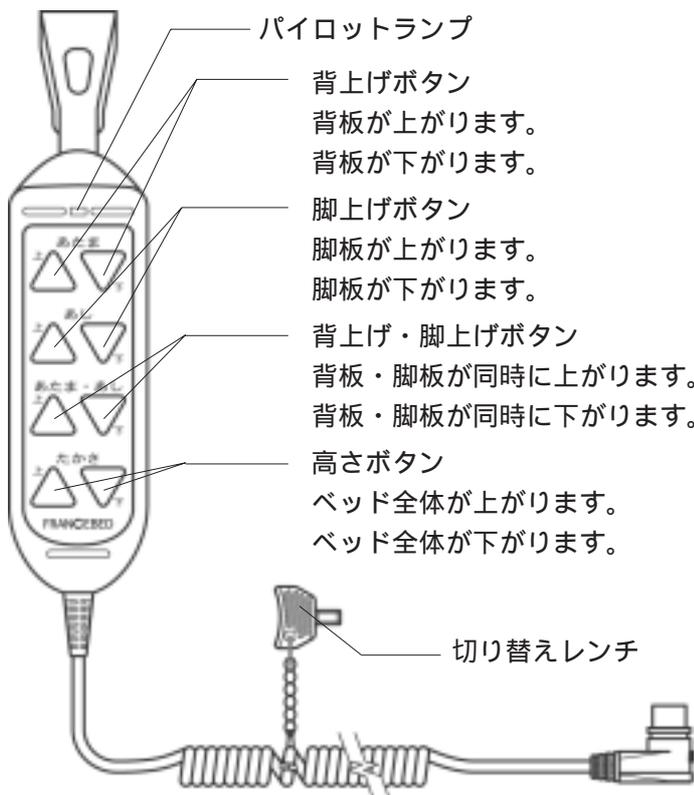


警告ラベル

コントローラーの使い方

コントローラーのスイッチを押すことによりベッドの背上げ、脚上げ、ハイロー操作が行えます。
(お一人様用に設計されておりますので、ご使用は必ずお一人でお願いいたします。)

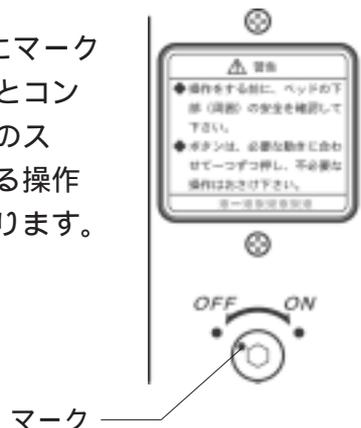
操作ボタンを押すとパイロットランプが点灯して作動します。



安全スイッチの操作

裏面にある安全スイッチの六角穴に付属の切り替えレンチを差し込み、OFFにマークをあわせるとコントローラーのスイッチによる操作を禁止することができます。

また、ONにマークをあわせるとコントローラーのスイッチによる操作が可能になります。



こんな時には(電動フレーム)

状態	確認事項
コントローラーのボタンを押しても動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに確実に差し込んで下さい。 コントローラーのコード及び、ハイローフレーム連結コードを組立方法に従い確実に差し込んで下さい。
電動フレームが水平にならない	<ul style="list-style-type: none"> 「組立方法」を見ながら正しく組立て直して下さい。 リクライニング部に掛け布団や毛布などが挟まれている場合があるので、電動リラックスフレームを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いて下さい。
停電等が原因で、電動フレームが起きたまま停止してしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 停電が終わればリクライニング部は再びコントローラーにて操作できます。 就寝に支障を来す場合は、マットレスをはずし、モーターの前後、上面にあるフタをスライドさせてモーターを取り除きご使用下さい。 赤いストッパーがある場合は、ストッパーを上引き上げ、モーターの前後、上面にあるフタをスライドさせてはずして下さい。前後にあるフタをはずすとモーターが落下しますので、足等挟まぬよう注意して作業を行って下さい。又、モーターの前後方向・ワクセンの上下方向がそれぞれ似ている為、方向を確認しておいて下さい。 <p>ワクセン</p> <p>ヘッドボード側</p> <p>フタ</p> <p>フタ</p> <p>ストッパー</p> <p>通電後、上記の逆の手順で元に戻してご使用下さい。</p>

以上の確認事項を行っても状態が直らない場合は使用を中止しお買上げの販売店又は弊社相談室にご相談下さい。

アフターサービス

保証書

保証書は、お買い上げ店より「お届け日、お買い上げ店名」を記入していただけて下さい。

保証書に記入できない場合は、納品書又は領収書（お届け日、お買い上げ店名のわかる物）と併せて大切に保管して下さい。
注）保証書と、納品書又は領収書無き場合は保証いたしかねます。

保証期間

製品の部位により、お届け日より起算し以下の期間と致します。

木製、金属製フレーム	：	2年
但し、可動部品	：	1年
電気・照明部品	：	1年
布製フレーム	：	2年
但し、付属品は除く。		

修理を依頼される時は

修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合は『お買い上げ店』又は、『お客様相談室』へご連絡下さい。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎている時は

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

できるだけ詳しくお願いいたします。

ご住所、ご氏名、電話番号

型式名、お買い上げ店名、お届け日

故障又は異常の内容

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代は、修理に使用した部品及び補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付け下さい。

弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げの販売店又は弊社相談室にお問合わせ下さい。



0 1 2 0 - 3 9 - 2 8 2 4

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時

土、日、祝祭日、年末、年始等は除く

